



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 三共興株式会社

コード番号 8018

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川崎 賢 祥

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 長澤 和 之

(役職名) 執行役員

(氏名) 下川 浩 一

(TEL) (06) 6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,202	△5.5	598	△8.2	803	△1.6	583	△0.6
29年3月期第2四半期	13,970	△12.1	652	△17.0	816	△17.4	586	△5.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,115百万円(— %) 29年3月期第2四半期 △807百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	12.88	—
29年3月期第2四半期	12.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	54,550	37,040	67.2
29年3月期	52,723	35,607	66.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 36,678百万円 29年3月期 35,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	15.00	15.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△3.3	1,300	△32.4	1,600	△35.4	1,100	△40.1	24.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	60,000,000株	29年3月期	60,000,000株
30年3月期2Q	14,737,397株	29年3月期	14,737,396株
30年3月期2Q	45,262,603株	29年3月期2Q	45,262,604株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあり、業種間に濃淡は見られるものの徐々に収益面や雇用面での改善も見られるようになってまいりました。

しかしながら、いまだ政府・日銀が目標とするデフレ脱却と言える状況にはなく、低金利状態や景気の先行きに対する不透明感は当面続くものと思われまます。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましても、長期にわたる消費低迷が続いておりますので、当社グループは利益重視の意識を徹底、経営効率の向上に向けての改革を迅速に進めております。市況の厳しさもあり、この上半期の売上は減収となりましたが、利益面ではその効果も現れ、ほぼ前期並みの結果を残すことができました。

また、当社の主力ブランドである「DAKS」につきましては、ブランド価値の更なる向上へ向け、総力を上げて取り組んでまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比5.5%減の13,202百万円、営業利益は前年同期比8.2%減の598百万円、経常利益は前年同期比1.6%減の803百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比0.6%減の583百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

ファッションブランド商品の販売におきましては、依然として厳しい状況が続いております。

このため、利益重視の販売戦略の中で、ブランド価値の向上を図り営業効率を高めるため、国内では人員を含めた店舗効率の見直しを急ぎ、同時に生産管理を強化、在庫の圧縮を迅速に進めております。さらに経費面からも人件費、広告宣伝費などの削減を図るなど益率の向上に努めております。

また、海外では香港市場でも不採算店舗を閉鎖し家賃等経費の削減を図ると同時に、主力の中国市場でも今期から代理商を地域ごとの3社体制でスタート、拡販に向け徐々に成果も現れてきました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比8.6%減の6,761百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比0.4%減の247百万円となりました。

② 繊維関連事業

アパレル企業向けOEM事業におきましても、依然として市場環境の厳しさが続いており、取引先各社も生産量や取扱ブランドを絞り込むなど慎重な対応が目立ち、受注拡大にも厳しさが増しております。この様な状況の中、営業効率の改善に努め、さらに9月にかけては一部前倒し納入もありましたので、利益面では増益となりました。

加えて、新規取引先の開拓に努めてきた成果も徐々に現れており、今後とも企画、提案の強化を図り、一層の取引拡大、収益の向上を目指してまいります。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比0.8%減の5,823百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比22.4%増の241百万円となりました。

③ 不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとする東京・横浜・神戸等の不動産に係る賃貸事業におきましては、一部テナントの入れ替わりに伴う稼働率の低下もありましたので、当セグメントの売上、利益とも前年を下回りました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比4.2%減の867百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比14.4%減の266百万円となりました。

④ その他

ビルメンテナンス事業、内装工事業等におきましては、売上高は前年同期比27.9%増の473百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比181.0%増の25百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて305百万円(1.6%)増加し、19,039百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が352百万円増加、商品及び製品が250百万円増加した一方で、未収還付法人税等が197百万円減少、現金及び預金が106百万円減少したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,522百万円(4.5%)増加し、35,511百万円となりました。これは、投資有価証券が1,394百万円増加、商標権が327百万円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて145百万円(1.4%)増加し、10,851百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が524百万円増加した一方で、短期借入金が254百万円減少、未払費用が125百万円減少したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて249百万円(3.9%)増加し、6,658百万円となりました。これは、繰延税金負債が451百万円増加した一方で、長期借入金が160百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,432百万円(4.0%)増加し、37,040百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が1,009百万円増加、純資産から控除している為替換算調整勘定が507百万円減少したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて250百万円減少(前第2四半期連結累計期間は789百万円の減少)し、当第2四半期連結会計期間末には、8,818百万円(前第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は7,959百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上額が818百万円、仕入債務の増加額が513百万円となった一方で、売上債権の増加額が312百万円あったことなどにより、991百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は680百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出が142百万円、有形固定資産の取得による支出が125百万円となった一方で、投資有価証券の売却による収入が114百万円あったことなどにより、164百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は138百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が677百万円、短期借入金の純減少額が252百万円、長期借入金の返済による支出が160百万円あったことなどにより、1,121百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は1,153百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績につきましては、平成29年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,069	8,962
受取手形及び売掛金	4,779	5,131
商品及び製品	4,008	4,258
仕掛品	7	1
原材料及び貯蔵品	10	5
未収還付法人税等	263	66
その他	778	802
貸倒引当金	△180	△187
流動資産合計	18,734	19,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,032	7,865
土地	3,166	3,166
その他(純額)	272	281
有形固定資産合計	11,471	11,314
無形固定資産		
商標権	4,062	4,389
その他	232	204
無形固定資産合計	4,294	4,594
投資その他の資産		
投資有価証券	17,635	19,030
退職給付に係る資産	7	7
その他	590	584
貸倒引当金	△10	△18
投資その他の資産合計	18,223	19,602
固定資産合計	33,989	35,511
資産合計	52,723	54,550

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,335	3,860
短期借入金	5,304	5,050
1年内返済予定の長期借入金	320	320
未払費用	799	674
未払法人税等	116	232
返品調整引当金	35	—
その他	795	714
流動負債合計	10,706	10,851
固定負債		
長期借入金	320	160
繰延税金負債	4,714	5,166
退職給付に係る負債	553	549
その他	821	782
固定負債合計	6,409	6,658
負債合計	17,115	17,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,168	6,168
利益剰余金	25,085	24,989
自己株式	△5,235	△5,235
株主資本合計	29,018	28,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,672	9,681
繰延ヘッジ損益	10	16
為替換算調整勘定	△2,431	△1,923
退職給付に係る調整累計額	△21	△18
その他の包括利益累計額合計	6,230	7,755
非支配株主持分	358	362
純資産合計	35,607	37,040
負債純資産合計	52,723	54,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	13,970	13,202
売上原価	8,341	7,978
売上総利益	5,629	5,223
販売費及び一般管理費	4,976	4,624
営業利益	652	598
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	208	238
その他	30	20
営業外収益合計	239	260
営業外費用		
支払利息	24	17
店舗等除却損	9	4
為替差損	27	19
その他	15	15
営業外費用合計	75	56
経常利益	816	803
特別利益		
投資有価証券売却益	—	47
特別利益合計	—	47
特別損失		
減損損失	—	24
投資有価証券売却損	—	8
特別退職金	2	—
特別損失合計	2	32
税金等調整前四半期純利益	813	818
法人税、住民税及び事業税	181	250
法人税等調整額	38	△22
法人税等合計	220	228
四半期純利益	593	590
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	586	583

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	593	590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△189	1,009
繰延ヘッジ損益	8	6
為替換算調整勘定	△1,221	507
退職給付に係る調整額	1	2
その他の包括利益合計	△1,400	1,525
四半期包括利益	△807	2,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△814	2,108
非支配株主に係る四半期包括利益	7	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	813	818
減価償却費	363	302
減損損失	—	24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	16
受取利息及び受取配当金	△209	△240
支払利息	24	17
固定資産売却損益 (△は益)	△0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△39	△312
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△221	△235
仕入債務の増減額 (△は減少)	789	513
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△39
役員退職慰労金の支払額	—	△7
役員賞与の支払額	△69	△64
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16	△2
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△32	△5
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	—	△35
その他	△148	△38
小計	1,281	711
利息及び配当金の受取額	209	240
利息の支払額	△23	△17
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△786	57
営業活動によるキャッシュ・フロー	680	991
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△142
有形固定資産の取得による支出	△112	△125
有形固定資産の売却による収入	0	1
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	5	114
その他	△29	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138	△164
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△167	△252
長期借入金の返済による支出	△260	△160
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△677	△677
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△44	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,153	△1,121
現金及び現金同等物に係る換算差額	△177	43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△789	△250
現金及び現金同等物の期首残高	8,749	9,069
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,959	8,818

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,382	5,665	707	13,755	215	13,970	—	13,970
セグメント間の内部売 上高又は振替高	11	204	198	414	154	569	△569	—
計	7,393	5,870	906	14,170	369	14,540	△569	13,970
セグメント利益	248	197	311	757	9	766	△113	652

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△113百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△206百万円及びセグメント間取引消去等92百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,750	5,420	705	12,876	325	13,202	—	13,202
セグメント間の内部売 上高又は振替高	10	403	162	576	147	724	△724	—
計	6,761	5,823	867	13,453	473	13,926	△724	13,202
セグメント利益	247	241	266	755	25	781	△182	598

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△182百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△204百万円及びセグメント間取引消去等22百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 賃貸事業	計			
減損損失	24	—	—	24	—	—	24